

平成9年度第2回ORセミナー

意思決定手法AHPの実用の新ステップへ

—新しい方法ANPと最近の応用例, ソフトの紹介

セミナーのねらいと参加のおすすめ

かなり広く利用されて来ている階層化意思決定法AHPの、最近の発展を知ると共に、応用のための知識を新たにしようというねらい。まず、はじめてAHPを聞く方でも参加できるようにAHPの概説をします。次に要素間で従属的な関係がある場合を扱えるようにした Analytical Network Process という方法を展望します。その後AHPの最近の応用例や、日米の代表的なWindows対応のソフトの紹介をして、広く皆様に使っていただけるように考えたセミナーとします。

日時 1998年3月2日(月) 9:30~17:00

場所 東京ガス(株) 本社ビル13階1307会議室 (〒105 東京都港区海岸1-5-20)

オーガナイザー 真鍋龍太郎(文教大学)

プログラム

| 時間          | 題目(あらまし)  | 講師              |
|-------------|---|-----------------|
| 9:35~10:40  | 1. イントロダクション<br>AHPがはじめての方々にもこのセミナーを聴いて頂けるように、あるいは既にご存知のかたには復習をしていただくことをねらいとして、AHPの基礎を説明します。  | 真鍋龍太郎<br>(文教大学) |
| 10:50~12:30 | 2. AHPの新しい展開—ANP<br>Analytical Network Process—要素間や階層の上下を越えて従属関係があったりするような一般化されたAHPの考え方と方法、応用を紹介します。これによりAHPを適用できる範囲が広がりました。                            | 高橋 磐郎<br>(日本大学) |
| 13:40~14:50 | 3. AHPの最近の発展経過とその利用の実際<br>AHPの最近の発展経緯の国際的動向と、その中での相対評価法の例としてある県での県民意識調査と県の将来像の評価、絶対評価法によるリニューアルの費用・便益評価などの公共セクターでの応用を述べる。                               | 木下 栄蔵<br>(名城大学) |
| 15:00~16:00 | 4. グループ評価による人事評価への適用<br>科学的経営というORの主たる適用分野の中で、人事評価は重要な課題である。ここでは、AHPを人事評価における評価項目の重み付けに適用する事例を紹介する。人事評価は集団意思決定の一種であり、主観的要素を含むので、AHPがおおきな機能を果たすことを示す。    | 八巻 直一<br>(静岡大学) |
| 16:10~17:00 | 5. AHPを実際に使うためのソフトウェア<br>実際場でAHPを利用するには、パソコンソフトが必須だし、モデル作成や一対比較だけでなく、感度分析をするとなるとソフトは欠かせない。Windows対応の「ねまわしくん」と「Expert Choice」という、日米の代表的なソフトをデモもまじえて紹介する。 | 真鍋龍太郎<br>(文教大学) |

主催 (株)日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛(依頼中): 経営情報学会、計測自動制御学会、情報処理学会、電気学会、電子情報通信学会、土木学会、日本応用数理学会、日本機械学会、日本経営工学会、日本建築学会、日本統計学会、日本品質管理学会

— 参加要領 —

参加費：正・賛助会員 25,000円、学生会員 5,000円、非会員 30,000円

(協賛学協会の会員は正会員に同じ)

申込み方法：参加申込書に必要事項をご記入の上、学会事務局宛お送り下さい。

申込期限：平成10年2月20日(金)

申込・問合せ先：社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

(〒113 文京区弥生2-4-16 学会センタービル TEL.03(3815)3351 FAX.03(3815)3352)

会場：東京ガス株本社会議室

〒105 港区海岸1-5-20

TEL.03(5400)7596 (但し緊急時に限る)

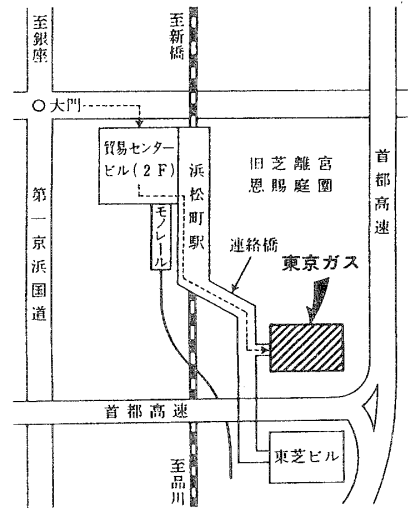
JR浜松町駅南口(橋上)・東京モルビル浜松町駅下車

(JR線路上の連絡橋を渡る 徒歩5分)

地下鉄都営浅草線大門駅下車徒歩10分

(貿易センタービル2階からJR浜松町駅南口前を通る)

会場案内図



キ リ ト リ

平成 年 月 日

ORセミナー参加申込書

参加者氏名 \_\_\_\_\_ 印 [正・賛・学・非] OR学会会員番号 \_\_\_\_\_  
 (非会員の方で協賛学会・協会の会員の方は、学会名または協会名を下記にご記入ください。)

所属学会・協会名 \_\_\_\_\_

勤務先 (学生は所属大学名) \_\_\_\_\_

所在地 (〒 ) \_\_\_\_\_ TEL. \_\_\_\_\_

連絡先 \_\_\_\_\_ TEL. \_\_\_\_\_

|     |   |          |   |     |   |    |              |
|-----|---|----------|---|-----|---|----|--------------|
| 参加費 | { | 25,000 円 | × | 名   | = | 円也 | 払込日 平成 年 月 日 |
|     |   | 30,000 円 | × | 名   | = | 円也 |              |
|     |   | 5,000 円  | × | 名   | = | 円也 |              |
|     |   |          |   | 合 計 |   | 円也 |              |

参加者が複数の場合はお手数ながら別紙リストを併せてお送り下さい。  
 次のいずれかの方法でご送金下さい。いずれの場合も本申込書が必要です。

- 現金書留 参加費と参加申込書を同封のこと
- 銀行振込 東京三菱銀行 千駄木支店 普通預金口座 0011000  
 住友銀行 白山支店 普通預金口座 697496  
 第一勧業銀行 根津支店 普通預金口座 1530801
- 郵便振替 東京 00190-6-79492
- 上記2,3の口座名 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

# 平成9年度第4回OR企業サロン（東京）

日 時：平成10年2月24日（火）午後6:00～8:50

テーマ：E（エレクトロニック）ビジネス時代の業務革新

ゲスト・スピーカー：日経BP社 日経情報ストラテジー 編集長 上村孝樹 氏

要旨：インターネットを活用し消費者と直接取引を行うオンライン・ビジネスが始まり日本でも成功事例が出始めた。一方、基幹業務処理の世界ではERPパッケージやエクストラネットなどによって企業間にわたるサプライチェーンを確立しようとする動きや、取引の相殺決済の計画が進み始めている。情報ネットワークによってモノの流れ、カネの流れ、情報の流れをデジタル化して一元的に管理することで業務革新を図ることの重要性について語る。

## － 開催要領 －

場 所：学士会館（神田）  
千代田区神田錦町3-28  
Tel (03) 3292-5931

日 時：平成10年2月24日（火）  
午後6:00～8:50  
（懇親会を8時から行います）

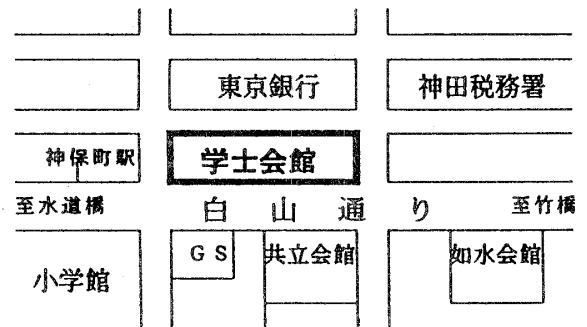
参加資格者：賛助会員（参加費：無料）

※正会員・学生会員の方々にも若干の参加枠がありますので、ご希望の方はOR学会事務局までご連絡下さい。TEL(03)3815-3351 FAX(03)3815-3352

## － 学士会館までの交通機関 －

地下鉄半蔵門線・都営三田線・都営新宿線  
神保町（出口A9）

## － 周辺案内図 －



## － 参加お申込みの要領 －

2月24日の第4回会合に参加ご希望の向きは、下記の申込書にご記入の上、事務局宛にお送り下さい。なお、会場の都合もあり、誠に勝手ながら参加者を100名程度に限らせて頂きます。また、参加お申込みは、各企業3名以内とさせていただきます。実際の出席者の方のお名前でお申し込み下さい。ご参加受付のお返事は、参加証の発送をもって代えさせていただきます。当日は当該参加証をご持参下さい。

to: (社)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局 FAX(03)3815-3352

平成 年 月 日

## 「OR企業サロン」申込書

第4回《東京》平成10年2月24日（火）午後6:00～8:50

|                |             |
|----------------|-------------|
| 御芳名            | 所属部門<br>役職名 |
| 御芳名            | 所属部門<br>役職名 |
| 御芳名            | 所属部門<br>役職名 |
| 住 所<br>(連絡先) 〒 |             |

TEL

FAX

平成10年1月

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会

賛助会員各位

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会

## 「OR企業サロン」のご案内

### —情報化と戦略的事業革新—

平素は当学会の諸活動に対し、賛助会員として格別のご支援・ご協力を賜りまことに有難うございます。お蔭様で、ORの諸活動は、産・官・学各界にわたり、さらなる充実をめざした広汎な取り組みが展開されつつあります。

その一環として、1987年より、**賛助会員**のための「OR企業サロン」を創設し、継続実施してまいりました。これは、トップあるいはミドルの経営者を対象に、当学会から効果的な経営戦略の策定・実施に真に役立つようなORおよび関連領域の話題を提供し、あわせてご参加の皆様、同業他社と、あるいは異業種間で「沙龙的な」交流を深めていただくことを目的とした企画でございます。幸い、これまでご参加いただいた多数の方々からは、大変なご好評をいただいております。

今年度も、「**情報化と戦略的事業革新**」を統一テーマにして、各界の第一線でご活躍のゲストのお話しを中心に、企業は“急速に進展する社会の情報化に対応していか”に戦略的な事業展開を行うか”といった今日的な経営の最重要課題について、平易にかつ多面的に検討してまいります。これは、従来のORとは関係の薄かった方々にも必ずや興味をお持ちいただける企画であろうかと存じますので、トップ・ミドルの経営者の方々に奮ってご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

平成9年度第4回のサロンは、裏面の要領により、2月24日に東京の学士会館で開催いたしますので、貴社関係部署にも、お声をおかけ願えれば幸いです。

コーディネーター：梅沢 豊（東京大学経済学部教授）

企画・運営：「OR企業サロン」企画委員会

#### ・申込先

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局

〒113 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

TEL (03) 3815-3351 FAX (03) 3815-3352